



京機会ニュース

No. 15 平成16年(2004年) 9月17日

京都大学機械系工学会

事務局：〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院工学研究科機械系工学専攻

TEL&FAX:075-753-5183、E-mail:keikikai@mech.kyoto-u.ac.jp

<http://www.hi-ho.ne.jp/dai2seiki/>

21世紀COEプログラム「動的機能機械システムの数理モデルと設計論」の活動状況



第2回公開シンポジウム(時計台記念館)

第1回国際セミナー(オーストリア・ウィーン)

目 次

| | | | |
|------------------------|----|--------------------|----|
| 平成16年度京機会春季大会・総会のご報告 | 2頁 | 平成15年度京機会決算報告 | 8頁 |
| 会長挨拶 | 3 | 関西支部からのご報告とお知らせ | 9 |
| 独法化後の大学の運営体制と新しい情報発信 | 3 | 関東支部からのご報告とお知らせ | 10 |
| 21世紀COEプログラムのページ | 4 | 中部支部からのご報告 | 11 |
| 平成16年度京機会秋季大会・総会のご案内 | 5 | 中国・四国支部からのご報告とお知らせ | 11 |
| 京機学生会主催 学生と先輩の交流会のお知らせ | 5 | 九州の会からのご案内 | 12 |
| 支部からのお知らせ | 5 | 会員のページ | 12 |
| 2004年度京都大学総合博物館秋季企画展 | 5 | 教官の異動 | 14 |
| 会計関連のお願い | 6 | 京機学生会「SMILE」活動報告 | 15 |
| 平成15年発行名簿について | 6 | 京機会関連教室送別パーティー | 15 |
| 平成16年度京機会役員 | 6 | 広告 | 15 |
| 平成16年度京機会評議員 | 7 | 写真のページ | 16 |

平成16年度会費(年会費3,000円)の納入をお願いします！

過年度会費の納入をお忘れの方もこの機会に納入いただきますように！

平成13～15年度分会費を完納されますと、平成12年度以前の会費納入状況にかかわらず

最新(平成15年11月発行)会員名簿を無料でお送りします。

最近の納入状況は同封の個人データ(会費状況欄)に記載しております。

平成16年度京機会春季大会・総会のご報告

平成16年4月10日に、(株)森精機製作所殿のお世話により、平成16年度春季大会が、森精機製作所伊賀事業所において75名の出席のもとに開催された。森精機製作所社長森雅彦氏(S60)の挨拶の後、京機会総会に移った。

はじめに久保代表幹事より、坂戸会長が出席できない事情について説明があったのちに、今年度から、これまでは大学において開催していた春季大会を企業で開催し、秋季大会を大学で開催することになった経緯についての説明があった。また、これに伴い今回の総会は、例年と一部異なる点があることが説明され、了承された。続いて、昨年度の京機会の活動報告が行われ、例年通りの活動に加えて、特に京機学生会や若手参加の行事が活発に行われたことが報告された。また、会計報告に関しては、決算報告書をもとに久保代表幹事より簡単な報告が行われた。なお、詳細な報告は秋の総会において行うことが了承された。次に平成16年度の新役員が原案通り承認され、小澤三敏新会長(S33)より、「大学の独立法人化という変革の年に当たって、大学への恩返し視点で京機会活動を行う」という活動方針が示された。

総会の終了後引き続き講演に移り、森精機製作所社長森雅彦氏の「工作機械産業の現状と未来」、同常務取締役平元一之氏の「DCG理論を用いた工作機械設計」と題する講演が行われた。(詳細は右欄参照)

引き続き6班に分かれて伊賀第1工場、第2工場を見学した。本来は休日である土曜日を見学会のためにわざわざ出勤日として頂き、セル方式による組み立ての様子や巨大な3次元測定器などの最新の設備が実際に稼働している様子を見学させて頂くことが出来た。見学会の後、講演会場に戻って講演と工場見学に関する質疑応答が活発に行われた。

その後、伊賀ゲストハウスにおいて懇親会を行い、旧交を温め合うとともに、各種情報の交換が盛況に行われた。最後に逍遙の歌を全員で合唱して会を終了した。



平成16年度京機会春季大会・総会の風景

1. 総会

- (i) 平成15年度活動報告
- (ii) 平成15年度会計報告
平成15年度収支決算書はP. 8に掲載。
- (iii) 役員改選

平成16年度の役員として、

| | |
|-------------|-----------|
| 【会長】 | 小澤三敏(S33) |
| 【副会長】 関西支部 | 野田忠吉(S33) |
| 関東支部 | 二宮 敏(S33) |
| 中部支部 | 松本和男(S41) |
| 中国・四国支部 | 河田耕一(S37) |
| 大学 | 藤本 孝(S40) |
| 会長指名(評議員議長) | 川口東白(S34) |

を選出した。

なお、監事・常任幹事・大学側幹事・評議員はP. 6～7に掲載。

- (iv) 新会長挨拶

2. 講演会

- (1) 「工作機械産業の現状と未来」

(株)森精機製作所 取締役社長 森 雅彦氏(S60)

切削型工作機械の生産額では、依然として、日本が世界一の座にある。一方、生産拠点の海外移転に際しては、操業度と為替レートも考慮したシミュレーション結果に基づく、緻密な戦略が必要である。当社の開発・製造部門では、3次元データを有効活用したデジタルデザインやCAMとの連携で、開発スパンを5ヶ月間まで短縮した。また、原材料・製品在庫、生産期間を従来の半年から2ヶ月間に短縮するとともに、セル生産方式の導入や制御盤の内製化などの取組みにより、組立リードタイムを4日間に短縮した。さらに、試作ユニットの徹底検証、破壊試験、組立ラインでの100時間ランニングの実施などにより圧倒的な品質を迫及している。環境面では、電力消費量の大きい周辺装置を見直し、従来比で41%の省エネを実現している。その結果、10年前の機械と比較して、40%程度の加工時間の短縮を果たすなど、コストパフォーマンスに優れたNシリーズでは、2002年度の第4半期で、全製品売上の4割強を占めるまでに至っている。

- (2) 「DCG理論を用いた工作機械設計-重心駆動とは-」

(株)森精機製作所 常務取締役 平元 一之氏

1トンオーダの力で押しながら、マイクロメートルの精度を実現することは、まさに細い吊り橋を揺らさずに、トラックを渡らせるようなもの。駆動物の重心以外を押せば、振動が発生し、良好な加工面は得られない。一方、振動を恐れて強く押さないでいると、加工時間は執拗に長く掛かってしまう。また、振動は、工具寿命にも悪影響を与えることが分かっている。そこで、2本のボールねじを用いて重心駆動を行った。残留振動は短時間で収まり、送り速度を犠牲にしなくて良いという成果が得られた。一方、リニアモータではこうした効果は期待出来ない。重心駆動を採用することで、運動時、加工時の力を重心で受けることが可能となる。複合加工機にも同技術を採用した。

会長就任挨拶

小澤 三敏(S33)

坂戸前会長の後を引き継いだ小澤です。宜しくお願ひします。5月末に神戸に転居したので京都大学が近くなりさる7月24日の第17回関西支部産学懇話会に出てみました。内容は別途報告を見ていただくとして、現状の問題点の核心に触れた講義とディスカッションがハイレベルで行われました。即ち企業側、大学側の現状と将来展望を基に学生の教育とキャリアに対する討議が京機会というOB会の場で、しかも京機学生会も参加して行われて、私が会長を引き受けたときから問題としていた事柄が率直に議論されたことに驚き感激しました。このように京機会の活動は関西支部中心の活動が創立100周年頃から特定の先生方とOBの方々の努力で活発になり、支部の増加、COEを初めとするセミナーの開催、学生会の誕生等その内容も充実してきました。しかしながら機械系全体の先生方の巻き込み度合いや京機会会員全体の活性度合いは残念ながら高まっていません。機械教室においても、COEや教室改革等の取り組みが強力に進められていますが、京大の機械がこれから起こる大きな変化に対応して生き延び発展してゆくためにも、京機会の活性度を上げ、教室と両輪となって邁進する必要があります。

今春、既に大学は法人化されました。当然その運営資源は先生個人の働きでは不足し、大学として研究や教育の結果を出さなければ得られなくなります。また大学のお客様は国ではなく、学生であり社会になってきます。企業に関しては既に株主資本主義の世界に入り、会社のM&Aや分社化が世界レベルで行われ、年功や出身校のネームバリューは役に立たず、成果を中心とした実力社会となりつつあります。安住の場と考えていた大学や企業で自分の好きな人生を送ろうと言う人生観が成り立たなくなって来ています。慌てて自分の周りに知恵を求めても、簡単には得られない環境になっていることに気づくでしょう。

独法化後の大学の運営体制と新しい情報発信

本年4月、国立大学は国の行政組織から外れ、国立大学法人となりました。総長が、いわば「社長」となり、大学独自の権限と責任による自律的な運営ができるようになりました。

一方、法人としての責任も求められており、中期目標・中期計画(第一期H16~21)を掲げ、それに対する評価により国からの運営費交付金が決められる仕組みとなっています。これにともない大学内組織も大きく変化しました。まず、総長の下に内閣に相当する役員会が構成されました。7名の理事(内6名は副学長)はそれぞれ、企画、教育、総務、法務、財務などの分野を担当しており、その責任者として大学運営の具体的方針の決定を行います。役員会の下には、各課題について検討する全学委員会が設置されており、予算に関する財務委員会、組織に関する企画委員会、施設に関する施設整備委員会などが、役

近い将来確実にやってくる変化に現体制下では何も出来ないと言う危機感を持たれた先生方とOBの方々が、その解決策を模索する重要な場の1つに京機会を選定しておられると私は理解しています。



機械という分野は基礎学問や技術に種々の応用分野が複雑に絡み合った非常に範囲の広いもので、特定分野でノーベル賞や200億円の特許実施料を請求出来る領域では無いようです。しかし逆転の発想でこのエンジニアリング的性格は重大な変化に対応するには最適であると信じてその特色を捉え問題解決を図る活動が行われつつあると思います。その過程で徐々に明らかになってきた事は、我々は旧帝大の位置や大企業の安定した場に影響されたせい、自己中心の偏屈屋になっていることに気づいていないことが多いということです。またこのまま行くと現在の学生までも問題が出てくる可能性があるということです。京機会は意志決定機関ではなく、単なるコミュニケーションの場ですが、その利用価値は益々増加してくると信じています。そこで次のようなお願いをして就任挨拶と致します。

1. 京機会は競争や利害関係のない唯一最大の場で、共通にあるのは大学への「恩」だと信じて、これからの変化への対応活動の場に利用すること。
2. 現在の活動をさらに活発にして頂くこと。未だ個人主義の人も恩返し気持で、そして必ず我が身に返ってくることを信じて、まずは活動への参加を会費納入と言う形でご協力頂くこと。
3. 活動結果や情報を種々の方法で会員の方々に知って頂き、より多くの方々がそれを利用してながら機械系の特色を自ら発揮して変化を乗り切り社会に貢献出来るようになること。

員会の諮問を受けて概算要求や将来構想などの重要な事項を審議します。これらの委員会は、部局長や、指名された教授、事務責任者から構成されます。また、経営協議会(学外者含む)、教育研究評議会がそれぞれの担当事項を審議する他、各部局の調整を行う部局長会議も設けられました。

一方、法人化後大学からの情報発信を積極的にこなうようになってきています。大学のウェブサイトが一新された他、国内向け広報誌『紅萌(くれなゐもゆる)』、外国向け広報誌『楽友(Raku-Yu)』が刊行されるようになりました。また、博物館での展示イベント(P.5参照)、時計台でのコンサートなど、市民にも開かれた大学作りが進められています。

京都大学URL : <http://www.kyoto-u.ac.jp/>
各種広報紙のダウンロードも可能です。

21世紀COEプログラムのページ

本コーナーでは、関連教室の研究活動の中心となっている3つのCOEプログラムの活動状況について、随時報告させていただきます。各学科のCOEプログラム最新情報は、京機会HP内「機械系専攻リンク」をご覧ください。

「動的機能機械システムの数理モデルと設計論」近況報告 榎木哲夫(工学研究科精密工学専攻 教授)

京都大学工学研究科(機械工学専攻、機械物理工学専攻、精密工学専攻、航空宇宙工学専攻)、情報学研究科(複雑系科学専攻)および国際融合創造センターは、平成15年度21世紀COEプログラムの機械工学分野における研究教育拠点に選ばれ、2年度目を迎えた本年はさまざまな研究・教育活動を展開しております。

今年度の主なイベントとしては、まず平成16年5月8日に京都大学百周年時計台記念館国際交流ホールにて、本拠点の初年度の活動・研究成果の年次報告を目的とした第2回公開シンポジウムを開催致しました。(表紙写真参照) 藤本孝実行委員長、土屋和雄拠点リーダーの挨拶に引き続き、4つのグループからの3件ずつの発表と特別講演1件と懇親会の構成で、外部からの5名の評価・諮問委員の方々を含む174名の参加者を集めて盛会のうちに終了致しました。更に本拠点では、国際的視点の強化と国際的な情報発信を目的として、システム科学を中心とした国際的共同研究機関であるIIASA (International Institute for Applied System Analysis) との共同研究協定を結んでおります。これを受け、平成16年6月28～29日、IIASA-Kyoto University The First Joint International Seminar on Applied Analysis and Synthesis of Complex Systems をオーストリア・ウィーン市郊外のラクセンブルグにある同研究所において開催致しました。(表紙写真参照) 本拠点からは拠点リーダー、3名のグループリーダーを含む9名が講師として研究紹介を行い、IIASAからは Leen Hordijk所長の講演を含む3件の研究紹介、更にドイツのミュンヘン工科大学とカッセル大学からの特別講演2件の構成で、IIASA研究者の参加を交え活発な討論が行われました。

また、平成15年7月23日には、本拠点研究と産業界との情報交換と連携を目的とした京都大学21世紀COE第1回社会連携セミナーを東京で開催致しました。詳細は本報「関東支部からのご報告とお知らせ」の項をご参照ください。今後も引き続き多面的な拠点活動を展開していく予定ですので、何卒皆様方のご参加とご協力を宜しくお願い申し上げます。

「環境調和型エネルギーの研究教育拠点形成」の紹介 石山拓二(エネルギー科学研究科エネルギー変換科学専攻 教授)

エネルギー科学研究科は、エネルギー理工学研究所、宙空電波科学研究センター(平成16年度より生存圏研究所)と共に、平成14年11月より表記プログラム(拠点リーダー 笠原三紀夫 エネルギー科学研究科教授)を実施しています。

本プログラムは、研究面においては、太陽、水素、バイオの三分野における有用エネルギーの発生・変換・貯蔵・輸送の学理の追求と技術の開発を行うと共に、これらを核とするエネルギーシステムの環境調和性と社会受容性を評価して、真に環境に調和したシステムの構築をめざしています。また、教育面では、公募型研究助成、海外エネルギー科学スクールの開催、テキストの作成など、博士前期・後期学生の教育と研究支援を行うとともに、一般向けの市民講座を開催しています。これまでに大小シンポジウム(国際シンポ、産学連携シンポを含

む)を国内外で合計12回、市民講座を11回など、精力的に活動を続けています。

本会所属の教員(エネルギー変換科学専攻)もこのプログラムに参画しており、下記のような研究を分担して活躍中です。

塩路昌宏教授(水素エネルギー分野リーダー)、

Ali Mohammadi講師：水素燃料のエンジン利用

松本英治教授(水素エネルギー分野)：電磁超音波探触子による材料内部欠陥の可視化

星出敏彦教授(水素エネルギー分野)：水素システム機器の疲労安全性評価法の確立

今谷勝次助教授、上原拓也助手(水素エネルギー分野)：多結晶材料の熱・力学的挙動に関するマクロ/ミクロ結合解析

石山拓二教授、川那辺洋助教授(バイオエネルギー分野)：バイオ燃料の燃焼技術の高度化と燃料設計指針の策定

「知識社会基盤構築のための情報学拠点形成」の紹介 杉江俊治(情報学研究科システム科学工学専攻 教授)

本COEは情報学研究科の田中克巳教授を代表として、知能情報学、社会情報学、数理工学、システム科学の4専攻および学術情報メディアセンターが母体となって活動している。その名のとおり、「知識社会」の基盤構築のための情報学研究教育の拠点を形成することを目的としており、研究分野は大きく分けて「マルチメディア処理」、「認知科学とヒューマンインタフェース」、「知識共有・検索・流通技術」および「アルゴリズム・モデリング技術と基礎理論」の四つからなる。また、この拠点の特徴として、基礎的な技術の研究ばかりでなく、産学連携、地域連携、国際交流および情報知財に重点をおかれていることが挙げられる。

このCOEには京機会会員が中心に構成されている3研究室が参加している。機械システム制御分野(杉江研)では、基礎理論としてモデリングおよび制御アルゴリズムの研究を進めており、特に、試行の繰り返しにより高性能制御を実現する学習制御に重点をおいている。また、国際交流および学生教育の観点から海外の著名な研究者の招聘を活発に行ってきた。ヒューマンシステム論分野(熊本研)では、「人-自動車-道路」からなるITS(Intelligent Transport Systems：高度道路交通システム)に関連する諸課題を通じて、人間主体のシステム論構築を目指している。具体的には、操舵や加減速動作のモデリング、ステアバイワイヤ・システムによる操舵制御や制駆動力配分によるヨーモーメント制御などについて、理論的考察とシミュレータを用いた実験的検証を行っている。共生システム論分野(片井研)では、アクティブコミュニケーションのためのシステム論の展開として、障害者やその関連施設との連携も含めてのケア・コミュニケーションの理論とその実践的展開、組織風土や技能の継承のスキームと人財育成法の構築、圏論など抽象数学に基づいた情報フローの理論、遊環境を含む共生的な環境デザイン論の構築などについて、学生の現地インターン研修派遣やNPO法人を介しての地域との連携活動など理論的研究のみならず幅広く実践的活動展開を行っている。

平成16年度京機会秋季大会・総会のご案内

標記の大会・総会を下記のとおり開催いたします。本年度も土曜日開催といたしました。よろしくご出席下さいますようご案内申し上げます。

日時：平成16年11月13日(土) 15:15～

会場：京都大学大学院工学研究科機械系工学専攻

工学研究科物理系校舎(時計台の東方8階建て校舎) 313大講義室ほか

行事：

1. 講演会 15:15～16:10

『再生医療と生体環境設計』

富田直秀氏(S54卒、京都大学 国際融合創造センター 創造部門)

環境との相互作用の中で動的に存在している生体の機能や形態を「仕様」と定めて設計してしまうと、その設計された機能はやがて生体を破壊してしまうことになる。

本講演では、再生組織の適応性に注目したいくつかの実験結果と共に、体の機能や形態を「作る」のではなく「育てる」ことを目的とした再生医療に関して具体的に説明する。

2. 講演会 16:15～17:10

『世界における燃料電池自動車開発の展望と課題』

平 忠明氏(S39卒、JFEコンテナ(株) 顧問)

21世紀の自動車の本命とされている高圧水素ガス搭載型の燃料電池自動車の開発・評価・規格化のために、世界の主要自動車6社が参画した2年間のHYD700プロジェクトが本年6月末に目的を達成して完了した。このプロジェクトのSteering Committee Chairmanを務めた立場で、燃料電池自動車開発の展望と課題を解説する。

3. 総会 17:15～17:45

(1) 会計報告、会計監査報告

(2) 支部報告(関西、関東、中部、中国・四国支部)

(3) 第二世紀事業報告

懇親会： 18:00～20:00

会場：京大生協吉田食堂

会費：3,000円 学生1,000円(当日会場でお支払い下さい)

○ご出欠のご回答を、11月1日(月)までに、同封のはがきでお寄せ下さい。

京機会HP(<http://www.hi-ho.ne.jp/dai2seiki/>)からも受け付けできます。

ただし、二重受け登録防止のため、出欠回答はどちらか一方でお願いいたします。

○評議員の方には、評議員会(13:30～14:45)についてもご出席願います。

学生各位！ 京機学生会「SMILE」主催 学生と先輩の交流会のお知らせ

学生会主催で本会を下記により開催いたしますので、多数ご参加下さい。

日時：11月13日(土) 11:45～14:45 会場：京都大学工学研究科物理系校舎

スケジュール： 交流会 11:45～14:45

懇親会 18:00～20:00 (上記、京機会秋季大会懇親会にご参加下さい)

◎P.15に、昨年の交流会の様子が掲載されています。

支部からのお知らせ

◎九州の会:11月20日(土)開催(詳細はP.12)

◎関西、関東、中部、中国・四国各支部総会や、その他行事の詳細・参加申込方法は、各位が所属される該当支部からのご案内と共に、随時、京機会HPでもご案内いたします。

各支部ページに、今後の行事予定が掲載されていますので、ご確認いただきますと共に、是非ご参加下さい。ご所属以外の支部への行事参加も歓迎いたします。

京都大学総合博物館2004年秋季企画展

「新世紀を創る-京都大学の工学と貴重技術史資料-」

日時：2004年9月29日(水)～12月26日(日)

会場：京都大学総合博物館(京都大学本部構内)

教室では、会員からも資料提供のご協力をいただき、技術を通じた社会貢献の状況を展示します。牧野教授企画の「工学の智恵・遊び/夢を育む"おもちゃ"/」のコーナー(10/2～12/25の毎土曜日)もあります。

会計関連のご報告とお願い

会計状況について

平成15年度は、学生を含む若手会員の本会活動への参加促進を目的とした交流基金の支出、新たに発足した学生会への活動補助など、会の活性化への新しい試みを行いました。決算報告にありますように、単年度収支では比較的小幅な赤字となりましたが、赤字体質は依然続く見込みです。当面は、繰越金を減らすことによって収支を保てますが、樂觀できない状況といえます。また、本年度予算においては、引き続き学生会への補助を行うとともに、支部交付金の算定法改訂など、会の活性化と事務作業の合理化を進めております。

会費納入のお願い

平成16年度の会費 3,000 円の納入をお願い致します。同窓会を維持し、また、京大の機械系教室の現役・OBが一体となって、日本を支えている製造業を推し進めてゆく活動は、会員の皆様から納入される会費を基盤にしております。会計状況報告を見て頂いて分かりますように、京機会の運営は経済的に厳しい状況にあります。製造業・機械産業が日本を支え、その中心が京都大学機械系であるための努力を継続してゆくため、是非、会費納入にご協力下さい。

寄付のお願い

ニューズレター前々号より寄付をお願いしております。前号以来、下記に記載いたしました方々からご寄付をいただいております。ご報告申し上げるとともに、厚く御礼申し上げます。引き続き、皆様方には、寄付へのご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成16年度ご寄付者(H16.2.1~8.31)

S23 柴田敬介様、S27 岩崎恵二様、S32 木村達也様、
S33 小澤三敏様、S34 柴田俊忍様、S34 須田忠治様、
S34 川口東白様、S35 京極哲朗様、S37 河田耕一様、
S37 大谷隆一様、S37 中谷征司様、S40 高橋光夫様、
S40 北川正樹様、S41 久保愛三様、S41 中島大策様、
S41 畑 憲一様、S43 瀧本正民様、S45 松久 寛様、
H2 加畑博幸様

会費ならびに寄付ともに添付の振り込み用紙をご利用下さい。今回から、振込用紙は返信葉書と一体となって印刷されております。会費納入の際には、会費状況お知らせ欄に記載されている納入状況を今一度ご確認ください。本年度以前の会費が未納の場合には、ぜひ本年度分と併せて納入下さい。また、ご寄付をいただける場合には、必ず振込用紙所定欄に金額等をご記入いただきますようお願いいたします。

平成15年発行名簿について

お蔭様をもちまして平成15(2003)年11月に京機会名簿を発行し、平成13~15年の3年間の会費を納入頂きました方々にお送りすることができました。まだ若干の在庫がございますので、ご入用の方は、大会案内の返信葉書「通信」欄にその旨をご記入の上、平成13~

15年会費の未納分会費をご送金下さい。ご入金を確認次第、名簿をお送りいたします。次回の名簿の発行は平成18(2006)年の予定です。今後ともよろしくお願い申し上げます。

(名簿担当幹事 熊本博光)

平成16年度京機会役員(敬称略)

【会長】

小澤三敏 (S33、住友重機械工業(株)相談役)

【副会長】

関西支部 野田忠吉 (S33、住友精密工業(株)社友)

関東支部 二宮 敏

(S33、バブコック日立(株)代表取締役社長)

中部支部 松本和男

(S41、(株)デンソー 取締役副社長)

中国・四国支部

河田耕一 (S37、高知工科大教授)

大学 藤本 孝 (S40、機械物理工学教授)

会長指名 川口東白 (S34、宇部興産(株)顧問)

【監事】

垣野義昭 (S39、京大名誉教授、垣野技術研究所)

中川 哲 (S38、キャタラ(株)代表取締役社長)

植木 努 (H1、コーワ総合会計事務所 代表)

【代表幹事】

木村健二 (S51、機械物理工学教授)

【常任幹事】

会長指名幹事 熊澤正博 (S43、(株)日立製作所)

【常任幹事】

支部代表幹事

関西：秋山雅義 (S47、住友金属工業(株))

関東：江上秀男 (S44、富士写真フイルム(株))

中部：伊勢清貴 (S53、トヨタ自動車(株))

中国・四国：新谷 誠 (S47、三菱重工業(株))

大学側幹事

関西支部担当：塩路昌宏

(S50、エネルギー科学研究科エネルギー変換科学教授)

関東支部担当：吉村允孝 (S43、精密工学教授)

中部支部担当：久保愛三 (S41、精密工学教授)

中国・四国支部担当：牧野俊郎

(S47、機械物理工学教授)

九州の会担当：松久 寛 (S45、精密工学教授)

名簿担当：熊本博光

(S44、情報学研究科システム科学工学教授)

広報・ニュース担当：北條正樹 (S54、機械工学教授)

広報・HP担当：西脇真二 (S61、精密工学助教授)

会計担当：石山拓二

(S53、エネルギー科学研究科エネルギー変換科学教授)

平成16年度京機会評議員(敬称略)

(新) : H16 年度新任評議員

| 卒年 | 卒業生代表 〔()以外は関西〕 | 地区担当 | | | |
|-------|---------------------|-----------------|--------------|--------------|-------------|
| | | 関西 | 関東 | 中部 | 中国・四国(その他) |
| S 2 0 | 谷口 浩 | | | | |
| S 2 1 | 大矢根守哉 | 鬼頭 勇 | | | 坪井 正 |
| S 2 2 | 岸本 雅夫 | 岸本 雅夫(兼) | | | |
| S 2 3 | 岐美 格 | 尾谷 博敏 | 京谷 好泰 | | |
| S 2 4 | | | | | |
| S 2 5 | 森川 龍一 | 森川 龍一(兼) | 真部 広隆 | | 渡辺 忠淳 |
| S 2 6 | 吉川 和彌 | 村上 浩路(新) | 加藤 孝之 | | |
| S 2 7 | 鈴木 正直 | 山本 巖 | 小林富美彌 | 濱島 辰雄 | |
| S 28旧 | 乾 幸人 | 乾 幸人(兼) | 高橋 尚郎 | | 寺谷 忠郎 |
| S 2 8 | 西田 弘 | 宇多小路豊 | 西岡 良三 | | 松田 安正 |
| S 2 9 | 久光 脩文 | 久光 脩文(兼) | 木村 雄宗 | | |
| S 3 0 | 大友 満(新) | 荒木 克治 | 佐藤 正敏(新) | 清水 孝(新) | 撰 親 |
| S 3 1 | 橋本 昌 | 東 良学 | 戸田 凱夫 | 山本 新市 | 和中 宏樹 |
| S 3 2 | 福森 康文(新) | 三輪 順計(新) | 木村 達也 | 赤松 利章 | |
| S 3 3 | 野田 忠吉 | 中村 達 | 梅本 毅 | 池村 澄男 | 藤田 宏 |
| S 3 4 | 柴田 俊忍 | 木谷 彰宏 | 三浦登志男 | 大鹿 澄男 | 川口 東白 |
| S 3 5 | 松木 健次 | 矢部 寛 | 太田 脩二 | 小西 博(新) | 大熊 隆吉(九州) |
| S 3 6 | 四方 光夫 | 四方 光夫(兼) | 宮下 直也、山本 明 | 井上 恵太 | 佐藤 義政 |
| S 3 7 | 伊藤俊太郎 | 吉岡 肇、 | 小野 孝之、浅田 昭 | 毛戸 節男、大岩 忠明 | 阿部 武治(新) |
| S 3 8 | 中川 哲(中部) | 大西 邦彦 | 善本 毅 | 野呂 周平 | 高橋 正 |
| S 3 9 | 垣野 義昭 | 澤田 邦昭、 | 村田 哲也 | | 藤田 茂文 |
| S 4 0 | 島 進 | 濱野 清士、西宗 久昭(新) | 柳井 誠、北川 正樹 | 荒川 義光 | 鷺尾 誠一 |
| | | 林紘三郎(新) | | | |
| S 4 1 | 久保 愛三 | 古池 治孝 | 豊田 洋民、中垣 邦弘 | 松本 和男 | 石原 信勝 |
| S 4 2 | 藤川 卓爾(九州) | 堀家 弘 | 平尾 隆、有光 秀雄 | 加藤 由人、伊藤 和彦 | 下津 正輝 |
| S 4 3 | 小島 達雄(中国) | 林 完爾、大西 良弘 | 芳村泰嗣、木内誠司(新) | 瀧本 正民、中西 清 | 宇野 義幸、江藤 孝治 |
| S 4 4 | 並木 宏徳 | 神田 剛、五味 千秋(新) | 二井内親兵衛 | 野口 満之 | 石川 丕行 |
| S 4 5 | 名張 隆司(新) | 鴻野雄一郎(新) | 坂口 喜好 | 田附 尚 | 薦田 哲男 |
| | | 各務 嘉郎 | | | |
| S 4 6 | 三津田恒夫 | 三津田恒夫(兼) | 松宮 徹 | 鈴木 昌彦 | 山本 博孝 |
| S 4 7 | 秋山 雅義 | 成瀬 忠史 | 小澤 豊、広瀬 勇次 | 太田 誠一 | 新川登茂宣 |
| S 4 8 | 佐々木美樹(関東) | 成宮 明、安盛 善 | 増本 雄治 | 野口 好一 | 吉里 勉 |
| S 4 9 | 閑納 真一 | 日下部博昭、市場良行、柏木健男 | 吉田 史郎 | | 山崎 雅之 |
| S 5 0 | 山西健一郎 | 盛林 茂夫、石川 聡 | 長田 守弘 | 下村 豊 | 溝淵 俊寛 |
| S 5 1 | 杉江 俊治 | 深野 明 | 岩波 正、小松 富夫 | 棚橋 晴彦 | 中筋 和行(九州) |
| S 5 2 | 中井 善一 | 尾上 正剛、小島 敬良 | 藤山 一成 | 佐々木一衛 | 生田 耕治 |
| S 5 3 | 石山 拓二 | 北川 聡一、竹ノ内壮太郎 | 川口 靖夫 | 木村 忠司 | 小田 祐司(九州) |
| S 5 4 | 坂口 保彦 | 坂口 保彦(兼) | 尾崎永一、浜下浩一(新) | 伴 鋼造 | 山下 道雄(新) |
| S 5 5 | 小寺 秀俊 | 奥田 寛、姫田 篤 | 松浦 清、宮地 豊 | 敷田 卓祐 | |
| S 5 6 | 樫木 哲夫 | 岡村 将光、谷垣 哲也 | 羽田 英夫、石山 和文 | 竹内 芳裕 | |
| S 5 7 | 上井圭一郎 | 三宅 俊也 | | | |
| S 5 8 | 永瀬 豊 | 池内清晃、西村高明、疋田 理 | | 山下 和彦 | 林 知得 |
| S 5 9 | 横小路泰義 | 長岡壯壽、浜本成久、有川泰史 | 田中 正樹 | 平 弘二 | |
| S 6 0 | 新井 聡(関東) | 洲崎 章弘、鈴木 洋 | 村上 弘記 | | |
| S 6 1 | 蓮尾 昌裕 | 栗村 隆之、二股 一郎 | 粉川 良平 | 大塚 康司 | 後藤 知伸 |
| S 6 2 | 川上 浩司 | 篠原健治郎 | 小川兼一郎 | 小関 智史 | 田端 伸章 |
| S 6 3 | 玉川 雅章 | 加賀 邦彦 | 枝村 学、久保木 孝 | 近藤 好正 | 村田 健史 |
| H 1 | 石谷 善博(関東) | 柴田 豊、望月 正人 | 鳴海 一雅、栗栖 正充 | | 平田 直人 |
| H 2 | 水山 元 | 畑 善裕、三輪 雅彦 | 内山 雅史 | | |
| H 3 | 若林 英信 | | 能勢 幸嗣 | 佐藤 利勝 | 高嶺 研一(海外) |
| H 4 | 岩前 敦 | 福谷 和久、西田 大 | | 久保 崇、佐分利誠司 | 堀内 匡 |
| H 5 | 岩井 裕 | 雪本 徹、 | | | 廣門 泰樹(九州) |
| H 6 | 田中 和人 | 安威 俊重 | | 阿部健一郎 | |
| H 7 | 小森 雅晴 | 梅野 宜崇、井尾 賢司 | 古賀 響 | 泉 祐志、上坂裕之(新) | 大西 徹史 |
| H 8 | 泉井 一浩 | 塩瀬 隆之、平澤 拓 | 笹田 義幸 | | |
| H 9 | 佐野 智一 | 平山 朋子 | 杉原 了一 | | |
| H 1 0 | 鶴飼 宗紀 | 古株 慎一 | | 山内 崇史 | |
| H 1 1 | 佐藤 紘一 | | | | |
| H 1 2 | 小田 豊(新) | | | | |
| H 1 3 | 土井謙太郎(新) | | | | |
| H 1 4 | 金田 靖弘(新) | 金田 靖弘(兼) | | | |

事務局といたしましては、上記評議員を中心に全会員のご協力をいただきながら各卒業年度同窓会との連携を蜜にしていきたいと考えております。

平成15年度京機会決算報告 (自 H15.3.1 至 H16.2.28)

I. 一般会計の部

1. 前期繰越金

| 摘要 | 金額 | 内訳 | |
|--------------|------------------|----------|------------------|
| | | 明細 | 金額 |
| H14年度会費前受金 | 1,000,000 | みずほ銀普通預金 | 320,668 |
| H15年度以降会費前受金 | 279,000 | 現金 | 144,741 |
| 前期繰越金 | 8,026,054 | 郵便振替 | 857,645 |
| | | 郵便定期貯金 | 7,982,000 |
| 合計 | 9,305,054 | | 9,305,054 |

2. 収入

| 摘要 | 金額 | 内訳 | |
|-----------------|-------------------|------------------------------------|-------------------------|
| | | 明細 | 金額 |
| 預金利息 | 61,333 | 定期預金利息(基本金分) | 123 |
| | | 郵便定期貯金利息 | 61,200 |
| | | みずほ銀普通預金利息 | 10 |
| H15年度会費収入 | 6,279,000 | (注)上記前期繰越金のH15年度会費前受金1,000,000円との和 | ¥7,279,000が今年度の会費収入(*) |
| H16年度以降京機会会費前受金 | 1,307,500 | (注)上記前期繰越金のH16年度以降会費前受金279,000円との和 | ¥1,586,500が今年度の会費前受金(*) |
| 寄付金 | 89,280 | | |
| 京機会名簿代 | 32,000 | | |
| 京機会名簿広告代 | 1,100,000 | | |
| 大会参加費 | 739,000 | | |
| 雑収入 | 217,000 | 郵便局担保金返納 | |
| 預かり金 | 307,750 | H15年度関西支部事務委託費の前受金等 | |
| 名簿積立金取り崩し | 638,000 | | |
| 合計 | 10,770,863 | | |

3. 支出

| 摘要 | 金額 | 内訳 | |
|----------------------|-------------------|--------------------|-----------|
| | | 明細 | 金額 |
| 会員通信費 | 1,946,206 | 評議員宛文書発送費 | 22,320 |
| | | 学生と先輩の交流会案内等 | 17,190 |
| | | 春季・秋季大会案内発送費 | 934,693 |
| | | 返信はがき後納郵便料金 | 151,675 |
| | | 名簿関係書類・名簿発送費 | 740,708 |
| | | 通信用切手等代 | 11,370 |
| | | 封筒印刷代 | 68,250 |
| 印刷費 | 2,586,937 | 春季・秋季大会案内等印刷費 | 248,115 |
| | | 京機会ニュース(12.13号)印刷費 | 945,157 |
| | | 京機会名簿印刷費 | 1,393,665 |
| 備品消耗品費 | 50,910 | 文具等消耗品購入費 | 50,910 |
| 人件費 | 2,269,568 | 常勤アルバイト代・保険代 | 2,029,068 |
| | | 特別人件費 | 72,000 |
| | | 臨時アルバイト代 | 168,500 |
| 旅費 | 454,646 | 幹事会役員旅費 | 284,000 |
| | | 総会等出張旅費 | 165,646 |
| | | その他 | 5,000 |
| 会議費 | 140,265 | 幹事会経費 | 140,265 |
| 大会経費 | 574,864 | 総会懇親会等経費 | 508,725 |
| | | 総会・評議員会関連経費 | 66,139 |
| 支部交付金 | 2,389,488 | 関西支部交付金 | 960,978 |
| (注)若手交流基金も含: H15のみ支出 | | 関東支部交付金 | 645,365 |
| | | 中部支部交付金 | 402,311 |
| | | 中国四国支部交付金 | 330,834 |
| | | 九州の会 | 50,000 |
| 学生会事業費 | 135,838 | 事業費 | 135,838 |
| 雑費 | 559,531 | 郵便振替振込手数料 | 126,800 |
| | | 銀行振込手数料 | 17,220 |
| | | 銀行自動引落関係手数料 | 24,780 |
| | | プリンター保守代 | 73,500 |
| | | データベース作成ソフト改良費等 | 305,900 |
| | | その他 | 11,331 |
| 合計 | 11,108,253 | | |

4. 次期繰越金 (H16.2.28現在)

| 摘要 | 金額 | 内訳 |
|-----------|------------------|-------------------|
| みずほ銀普通預金 | 671,214 | (内訳) |
| 現金 | 23,862 | 会費前受金 |
| 郵便振替 | 396,188 | (内)H16年度会費前受金 |
| 郵便定期貯金 | 638,000 | 次期繰越金 |
| 合計 | 8,967,664 | ¥8,967,664 |

5. 名簿積立金

| 摘要 | 金額 |
|-----------|----------|
| 現金 | 0 |
| 郵便振替 | 0 |
| 合計 | 0 |

6. 基本金

| 摘要 | 金額 |
|---------------------------------------|----------------|
| みずほ銀定期預金 | 206,535 |
| みずほ銀定期預金 (朝永、岡本、金子、菊川、西原、長尾、植本各基金を含む) | 176,995 |
| 合計 | 383,530 |

II. 特別会計の部

1. 資産財産目録 (H16.2.28現在)

| 資産種別 | 金額 | 資産種別 | 金額 |
|-------------|-----------|-------------|-------------------|
| みずほ銀定期(005) | 1,000,000 | みずほ銀定期(010) | 1,000,000 |
| みずほ銀定期(006) | 1,800,000 | みずほ銀定期(011) | 2,000,000 |
| みずほ銀定期(008) | 1,000,000 | みずほ銀定期(012) | 2,000,000 |
| みずほ銀定期(009) | 1,000,000 | みずほ銀普通預金 | 8,861,915 |
| 合計 | | | 18,661,915 |

2. 収支明細

| 摘要 | 収入 | 支出 |
|-----------|--------------|----------|
| 定期貯金利息 | 2,659 | |
| 利付国債配当金 | 2,882 | |
| 普通預金利息 | 58 | |
| 合計 | 5,599 | 0 |

H14度決算より
¥5,599 増

上記監査内容に相違ありません。

平成16年4月1日

監事 駒井謙治郎、森川 龍一、植木 努

関西支部からのご報告とお知らせ

平成16年度上期活動報告(前号までの報告以降)

■異業種交流会

第17回：平成16年3月5日(金) 参加人数：34名
松下電工(株) 先行・融合技術研究所
見学：品質評価技術センター、自律移動ロボット
講演：「ケナフ繊維ボードの開発について」
有川泰史氏(S59)
「自律移動ロボットの開発について」
北野幸彦氏(S56)
「VR乗馬療法システムの開発」
仲島了治氏(S56)



第18回：平成16年5月21日(金) 参加人数：38名
三菱自動車工業(株) パワートレイン製作所/
ジャトコ(株) 京都事業所
見学：ジャトコ/ミッションの加工工場
三菱自工/エンジンの加工、組立、総合試験棟
講演：「エンジン開発プロセスについて」
飯田和正氏(S52)
「モータリングによる品質保証について」
島岡清重氏(S55)



■産学懇話会

場所：京都大学・物理系校舎 216室
第16回：平成16年3月6日(土) 13:30～
参加者：69名+学生多数/懇親会参加者：28名
講演：「工現実感技術」吉川恒夫氏(S39) 京大・機械
「クルマ創り雑感」原口哲之理氏(S51)
トヨタ自動車
第17回：平成16年7月24日(土) 13:30～
参加者：59名+若干名/懇親会参加者：40名
講演：
「大学と日立の連携」熊澤正博氏(S43) 日立製作所
「大学の研究・教育への期待」
野町哲雄氏(S58) ユーシン精機
「小企業からの注文」京和泉宏三氏(S41) サンテスト

「大学の取り組み」

- a) 「機械系の現状と将来構想に関する検討」
小寺秀俊氏(S55) 京大・機械
 - b) 「機械系の教育の問題点」
松久 寛氏(S45) 京大・精密
- 「キャリアカウンセリングとは」
鈴木美伸氏 stage41

■MOT研究会

第9回：平成16年2月20日(金)～21日(土)
参加人数 20名 [協力：ヤンマー(株)]
講演：「文系・理系」(経営を意識した工学へ)
平田誠計氏(S43) (株) 日本旅行
演習：「財務諸表の分析」 脇田一郎氏(S52)
監査法人トーマツエンタープライズ
第10回：平成16年3月18日(木) 参加人数:21名
「プロ野球のしゅくみと今年の阪神タイガース」
澤田邦昭氏(S39) 阪神電気鉄道(株)
第11回：平成16年4月23日(金) 参加人数:23名
「競争優位をめざす戦略的なMOT人材育成」
松本 毅氏(株) アイさぼーと
第12回：平成16年6月18日(金) 参加人数:15名
「応挙の絵画とその空間」
山嵜眞應氏 亀居山大乗寺



(写真左：第9回、写真右：第12回)

■京機九日会

4月9日 藤野良和氏(S33)
川崎重工勤務時代の、ディーゼルエンジン、ターボ過給機、歯車増速式ターボブロアー、インバーターブロアーの開発の話を「磁気浮上ローターの模型」で紹介され、更に学生時代にかじったダンス再開のきっかけから、現在の平成第3次ブームの実情の紹介を頂いた。話題が広がり議論が盛り上がった。
6月9日 松下 汀氏(S33)

宗教の話として、世界の宗派別宗教人口の分布、我が国の信者数から始まり、4大宗教の生い立ちと派生、各宗教の特色、キリスト教とイスラム教の反目から、イラク戦争後の世界、更には宗教と倫理の問題まで及び、最近の企業の不祥事についての倫理観にも話題が広がり、議論が盛り上がった。

■京機・京都の会

第22回：平成16年3月6日(土)
「腐食疲労と環境強度の歴史から学んだこと」
駒井謙治郎氏(S38)

日本機械学会論文集、69巻、687号(2003-11)に掲載の研究随想を講演、駒井先生が機械教室で遠藤教授の研究室で腐食疲労の研究を始め、在職中の研究内容を詳細に述べられた。

第23回：平成16年7月3日(土)

「鉄道零れ話」 西岡邦夫氏(S23)

①トリアの泉、②英国機械学会設立裏話、③新幹線車軸の安全性(日本材料学会の会誌「材料」のVol. 53, No. 6. pp704-705, June2004掲載)、④誰が初めて作ったか、⑤禍福門なし唯人の招く所、について述べられた。

関西支部今後の活動予定ご紹介

平成17年度新年会のご案内

日時：平成17年1月14日(金) 18:30～20:00
場所：ホテルグランピア大阪

詳細は、WEBにてご案内します。関西支部会員には、追ってご案内状もお送りします。

第19回 異業種交流会のご案内

日時：平成16年10月22日(金)
交流会：13:30～17:00 懇親会：17:10～19:00
場所：住友金属工業(株) 和歌山製鉄所

第18回 産学懇話会のご案内

日時：平成16年12月4日(土) 13:30～
場所：京大・工・物理系校舎 216室

第13回 MOT研究会のご案内

日時：平成16年10月15日(金) 18:15～
場所：ガーデンシティクラブ大阪 ハービスOSAKA6階

第14回 MOT研究会(講演会と忘年会)のご案内

日時：平成16年12月3日(金) 18:15～
場所：エスカイヤクラブ 駅前第3ビル店(大阪)

以上の活動詳細は、別途WEBおよびメールにて、ご案内します。

京機九日会のご案内

日時：12、2月を除く偶数月の9日(日曜日の場合は、10日) 11:00～14:00

場所：中央電気倶楽部(大阪)

8月：「世界各国うらおもて」上杉久弥氏(S33)
10月：「私のコンピュータグラフィックス」池上 詢氏(S33)

京機・京都の会のご案内

日時：3、7、9、11月の第1土曜日 11:00～13:30
場所：ウェスティン都ホテル京都

第24回9月4日と第25回11月6日に予定され、幹事は田中道七氏、赤松映明氏のお二人です。

関東支部からのご報告とお知らせ

第3回異業種交流会の報告

平成16年5月28日(土)に、恒例の異業種交流会を行いました。今回は、東芝メディカルシステムズ(株)様のお世話で、那須事業所の工場見学と会社紹介、そして「X線CTシステムの技術動向」というテーマでのご講演をいただきました。支部長はじめ、21名の参加者はX線CTを中心とする最新の医療機器、技術の進歩を目の当たりにし、患者の苦痛なく、迅速正確に診断が行われる様子に、こんなにも進歩しているのかと驚嘆しました。また、この最新技術が超精密機械加工技術の賜であることも、工場見学を通じて理解させていただき、機械屋一同、おおいに励みとなりました。そのあとの懇親会も時間が足りないぐらい盛況で、参加者一同大変有意義な一日を過ごすことができました。

なお、この交流会の次の日に、希望者によるゴルフコンペを近く的那須にて行い、天候にも恵まれて、好プレー、珍プレーで一同楽しく過ごして参りました。



京都大学21世紀COE第1回社会連携セミナー & 関東支部SOEの報告

21世紀COEプログラム「動的機能機械システムの数理モデルと設計論による機械工学の新たな展開」産学協同セミナーが大学のご尽力で、関東支部を対象に7月23日にスタートの運びとなりました。同時に関東支部でSOE(Salon of Excellence)と銘打って、懇親パーティーも実施しました。京機会以外のメンバーも交えて、総勢44名ものご参加をいただきました。

まず、榎木先生による「21世紀COEシステム制御設計グループの研究概要と事例紹介」に始まり、松久先生の「神経系を考慮した人の歩行と歩道橋の連成振動」の映像を交えての講義、そして、関東支部企業サイドからは、日立製作所システム開発研究所主幹研究員 舩橋様による「土工連携によるユビキタス情報社会の設計—やおよろプロジェクト—」のご紹介と講義を受けました。それぞれ、題名は厳めしいものの、わかりやすい中味で、フロアから質問、意見が気軽に、いくつも飛び交うなど、今回の目的である大学と産業界との、肩の張らない意見交換の場として活発な議論ができたと思います。その後はSOEにて、ご参加の先生、皆様の親交を更に深める事ができました。

出席してみると、予想以上に楽しく、高揚します。次回企画(下記)にも、多くの皆様のご参加を願っております。



COEセミナー&サロン 活動予定ご案内

場所：神田学士会館
日時：第2回：9月24日
第3回：12月10日
第4回：3月予定



平成17年度関東支部総会・新年会のご案内

平成17年度関東支部総会・新年会は平成17年1月29日(土)に開催します。今回の会場は神田学士会館です。詳細案内は後日ご案内しますので皆様のご参加をお願い致します。

中部支部からのご報告

平成15年度支部総会&懇親会の報告

平成16年3月20日に豊田自動織機「シャインズ」にて平成15年度京機会中部支部総会&懇親会が開催された。当日は京都大学より4名の学生にも参加頂き、総勢80名の会となった。総会ではまず松本支部長(S41)より挨拶があり、その後、来賓として京機会会長坂戸様(S32)、関西支部長野田様(S33)、関東支部事務局長江上様(S44)よりご挨拶を頂いた。引き続き伊勢事務局長(S53)より平成15年度の支部活動報告、会計報告、支部役員報告があり承認された。

総会終了後、コンボン研究所所長の井上様(S36)より「コンボン研究所における研究展開-エネルギー、環境、人間-」と題して特別講演を、また、京都大学の松久教授(S45)より「ゴンドラの制振装置の発明から開発まで」と題して特別講演を頂いた。

講演終了後、懇親会が行われた。今年は現役学生から「学生フォーミュラー大会参加に対して協賛を」との熱き呼びかけがあった。頼もしい後輩に応える会員も多く、会話も盛り上がった。

最後に全員で肩を組み琵琶湖周航の歌を合唱！とても楽しいひとときを過ごせたと思います。

なお、支部役員は以下の通り。

平成16年度中部支部役員 (*は新任、敬称略)

| | | |
|------|-------|--------|
| 支部長 | 松本和男 | デンソー |
| 副支部長 | 久保愛三* | 京都大学 |
| 副支部長 | 瀧本正民* | トヨタ自動車 |
| 副支部長 | 太田誠一* | 三菱自動車 |
| 監事 | 中川 哲 | キャタラー |
| 事務局長 | 伊勢清貴 | トヨタ自動車 |

評議員(各幹事会社代表者、*は新任、敬称略)

鎌居健一郎(デンソー)、佐々木一衛(豊田自動織機)
高階 純(三菱重工業)、野村真三(三菱自動車)
三輪邦彦*(ヤマハ発動機)、伴 鋼造(中部電力)
平田直人(東邦ガス)、坪井 徹(日本ガイシ)
加藤由人(愛三工業)、川合悦蔵*(新東工業)

平成15年度会計報告

| 取 入 | | 支 出 | |
|--------|---------|-------|---------|
| 費 目 | 金額 (円) | 費 目 | 金額 (円) |
| 支部交付金 | 304,311 | 幹事会費 | 11,720 |
| 若手交流基金 | 178,000 | | |
| 利息 | 7 | | |
| 繰越金 | 97,874 | 次期繰越金 | 568,472 |
| 合計 | 580,192 | 合計 | 580,192 |

注:幹事会13名参加:シャインズ

中部支部技術交流会20名参加:新東工業

中部支部総会&懇親会の風景



中国・四国支部からのご報告とお知らせ

平成15年度中国・四国支部総会の報告

平成16年2月20日、三菱重工業(株)広島製作所にて中国・四国支部総会を開催しました。(参加者:27名)

新旧支部長の挨拶の後、坂戸会長、中谷関西支部長代理より京機会の状況等について講話を頂き、京大、久保教授よりリカレント教育について紹介を頂きました。

異業種交流会では、「地球に優しい環境づくり」をテーマとし、①廃棄物加圧2段ガス化システム(宇部興産)、②新たな自動車リサイクルシステムの構築に向けて(マツダ)、③アルジェリア向けCO₂地中貯留プロジェクト(三菱重工業)の事例紹介を行いました。細かい点まで質問があり、異業種交流にふさわしい技術紹介の場であったと思います。

この後、三菱広島の主力製品である「タービン・コンプレッサ工場」および「航空機工場のボーイング777組立工程」の工場見学を行い、懇親会はダイヤモンドホテルで開催しました。新谷事務局長の挨拶の後、和やかに歓談し、最後に「琵琶湖就航の歌」で締めくくりました。

【新役員名簿・会計報告は、前号(No14)をご覧ください。】

中国・四国支部2004年度の行事開催予定

1) 若手・ミドル会員と先輩会員との交流会

開催予定:平成16年11月中旬

(場所は福山あたりで検討中)

昨年度の交流会では、広島地区の企業の幹部・中堅の

メンバーが参加し、人脈作りの面で非常に有意義な会合でした。今年は、四国・広島・岡山地区合同で開催し、若手社員も加わった楽しい会合にしたいと考えます。

2) 役員連絡会

開催予定:平成16年12月初旬(場所は広島の予定)

翌年度支部総会の計画と異業種交流会の内容について、支部役員間で協議します。

3) 支部総会

次年度支部総会は、平成17年2月下旬に四国電力(松山市)にて計画しています。伊方原発の見学・道後温泉宿泊等を計画しており、より多くの会員が参加できるように、調整したいと考えますので、関係各位の御協力を宜しくお願い致します。



平成15年度中国・四国支部総会の風景

九州の会からのご案内

昨年4月に小倉にて「京機九州の会」を開催しましたが、本年は下記のとおり11月に長崎にて開催します。同期の方とお誘いあわせの上、奮ってご参加下さるようご案内いたします。

今回は懇親会に先立って、三菱重工業(株)長崎造船所の史料館の見学会を企画しました。安政4年(1857年)徳川幕府の「長崎鋳鉄所」を起源とする長崎造船所の1世紀半にわたる歴史を見て、日本の近代重工業の歩みの一端を振り返りたいと思います。

1. 日時と場所:平成16年11月20日(土)

- 第一部:見学会 11:00~12:00
三菱重工業(株)長崎造船所 史料館
長崎市飽の浦町1番1号
水の浦門より入場徒歩10分
- 第二部:懇親会 12:30~14:30
「よひら」 会費 7,000円
長崎市籠町9-5 TEL:095-824-3450
思案橋交差点より徒歩5分

2. 申し込み方法:

九州の会事務局にて、九州地区でメールアドレスがわかる方には、既にメールにてご案内済です。

まだ申し込まれていない方は、同封の返信ハガキの回答欄を使いご連絡いただくか、京機会HP「会合各種受付」にて直接お申し込み下さい。

なお、締切は11月1日(月)とさせていただきます。

九州地区以外の方もご参会いただけます。
多数のご参加をお待ち申し上げております。

お問い合わせは、九州の会幹事:藤川もしくは、京機会事務局へお願いいたします。

京機九州の会幹事
長崎総合科学大学 藤川 卓爾(S42)

会員のページ

第21回 花房研究室同窓会開催のお知らせ

第21回(2004年度)花房研究室同窓会を下記にて開催いたします。

また併せて第16回ハイテクノロジー懇話会も同時開催いたしますので、同窓生の皆様多数の御参加をお願いいたします。

日時:2004年11月20日(土)
ハイテクノロジー懇話会 16:00~
花房研究室同窓会 17:00~

場所:京都センチュリーホテル(京都駅前)

なお、詳細は追ってお知らせいたします。

第20回同窓会記念写真は、P.16に掲載しております。
担当:市原順一

昭和58年卒(54年入学、60年修了)の同窓会開催

今年はオリンピック開催の年にあたります。下記のように同窓会を開催すべく準備しています。奮ってご参加下さい。なお、サイトに情報を追加していきますので、たまにチェックしてみてください。 <http://force.energy.kyoto-u.ac.jp/~imatani/doso.html>

日時:11月20日(土) 午後6時から
場所:京都センチュリーホテル(京都駅東側)
会費:8,000円程度

(今谷記)

京機24年会平成16年度同窓会報告

開催日:平成16年5月25日

会 場:ホテルグランヴィア京都

昔の若者が元気な姿(?)で互いに久かつを謝し、再会の乾杯の後は、グループに別れたり、一緒になって半世紀前の悪童(?)に戻って談論風発、時に笑い、時に憤慨して止まる所を知らず会の果てるまで楽しい一時を過ごしました。話題は主として、技術者としての経験や趣味の選択と実践、老化防止の取り組み方法に及び、又最近の世相に憤慨するなど多岐にわたりました。

終戦後の荒廃の中から企業の先兵として経済の復興や生産の向上に寄与した自覚と如何なる困難に遭遇しても新技術の開拓に努力する京都大学の教育理念の実践に邁進した満足感に溢れた話題が提供され、野武士集団の真骨頂を改めて自覚させられました。特に2点、

1. 海外への委託生産による先端技術の漏洩を如何に防止すべきか。

2. 必ず“ブラックボックス”を設けて最新技術の保存を考えるべきだ。

当事者から発言がありました。来年の会合を採択して散会しました。(岩本記、P.16の写真参照)

五十年会(S25年卒) 2004年春季例会報告

日時:平成16年5月10日(月)

場所:大阪倶楽部 出席者:14名

今回は下間君の「ペルシャ周遊紀」のテーマで豊富なスライドで、資料をもとにして、一時間半にわたってお話を聞きました。次いで、田中君より病気療養中の方々の報告、森川君より京機会の近況、野木君より河本先生の御病気の報告が有りました。

最後に出席者の近況報告があり、次回平成16年10月25日、大阪倶楽部で開催する事を決め散会しました。

(山中記、P.16の写真参照)

京機26年会 同窓会報告

平成16年4月21日ウェスティンホテル大阪で2年ぶりで同窓会を開催しました。集まったのは計8名、久しぶりで元気な顔を見せてくれ楽しい一刻を過ごしました。身体の不調を唱える人も多く会の直前に怪我やドクターストップで来れなくなった人も2~3あったが喜寿ともなれば致し方ないことかも知れぬ。

今までは東京、大阪と交代で毎年開催していたが遠方に出るのは次第に億劫になったので、原則として毎年大阪で1回開くことにした。東京、大阪共数人で時々になった。

先日、石原君が亡くなったので、今、手元の名簿では丁度30名、男子の平均寿命の男盛り、ますます元気でやりましょうと再開を約した。

(吉川和彌記、P. 16の写真参照)

洛友会(昭和29年卒)卒業50周年記念総会報告

開催日：平成16年4月5日(月)、6日(火)

参加者：19名

両日とも桜満開の晴天に恵まれ卒業50周年記念として5日に母校京都大学機械系教室を見学した後、宇治分校で1年を過ごした思い出の地宇治で総会を行い旧交を温めることができました。

京大では京機会代表幹事の久保愛三教授より教室(学部と大学院)の現状や教育と研究の環境変化等についてご説明いただいたあとCAD室、実験室、機械工作室などを見学させていただき、時代の変遷と半世紀の進歩を肌で感じる事が出来て大変有意義でした。久保先生はじめ、お世話いただいた教室の方々、事務局の段さんに厚く御礼申し上げます。

宇治では宇治川河畔の亀石楼で総会を開き、今後の洛友会の運営について活発に意見交換すると共に、夕食後の懇談では近況報告や健康談義に花が咲きました。(幹事：廣田良夫記、P. 16の写真参照)

銀友会(昭和36年卒)同窓会報告

平成15年11月21日恒例の東京地区・銀友会を開き、名古屋から初参加の鈴木聡君を含め13名が出席しました。

今回は幹事の山本明君の紹介で、懇親会の前にJR東日本 東北・上越新幹線総合司令室を訪問、更新された最新の列車運行システムを見学することができました。当システムはJR東日本の新幹線運行の心臓部にあたるもので、得難い機会でした。

懇親会では、趣味でムラビンスキー指揮の日本公演ライブ録音を発掘し、数曲CD化している天羽健三君、お嬢さんが二期会のソプラノ歌手の浅香泰三君、日本ヨハン・シュトラウス協会の事務局長として活躍している山本明君など、いつもとひと味違う話もでて盛り上がり、愉快的ひとときでした。

年に一度の例会ですが、東京地区以外の方の参加も歓迎です。(垣田 修記、P. 16の写真参照)

昭和39年卒同窓会報告

開催日：平成16年4月17日(土)

会 場：時計台記念館

昭和39年度卒業生20名が集まって、上記のように同窓会を開いた。時計台記念館を会場として、旧交を温めるとともに、機械系の現状報告と4年後に迫った桂移転の計画が説明された。

(垣野記、P. 16の写真参照)

昭和40年卒同窓会「4040会」報告

昭和40年卒者の同窓会「4040会」は、昨年、林、川辺両君を幹事として久しぶりに開催された時、老後の楽しみとしてこれからは毎年開催しようという話になった。本年は、周富徳プロデュースの中華料理コースを食べながらの神戸港ディナークルーズという企画で、5月29日17時頃に神戸ハーバーランドモザイク

前に25名が集合、17時10分に出航し、2時間弱の間、食事と遊覧を楽しみながら旧交を温め、帰港後は21名がにしむら珈琲店に場所を移して再び話が弾み、8時過ぎに散会となった。今回の企画に対する参加者の意見はおしなべて好評であり、幹事として有り難く思っている。なおクルーズでは、途中生演奏やデッキからの眺望観賞などが含まれていた為、参加者全員に話をしてもらうには時間が足らず、3つに分かれたテーブルを代表して、東、藤井(正)、竹田の3君が挨拶していただいた。特に現在医者となっている東君は、立命館で勉強中のお嬢さんを伴って、遠路熊本から卒業後初めて参加された事は、喜ばしい限りであった。

来年は、昭和40年卒業者の卒後40年という区切りの年なので、京都で盛大にやりたいという意見があり、幹事を元田、中尾、池内の3君にお願いすることとなった。(西宗、鷲尾記、P. 16の写真参照)

昭和43年卒同期会報告

6月4日(金)13時に小田原から少し北に入った南足柄市にある富士写真フイルム(株)足柄工場に24名の仲間が集まった。昭和43年卒は、関西支部、中国・四国支部、中部支部それに関東支部が持回り、年1回、工場見学と懇親会を続けている。

今回は、富士フイルムの「写るんです」の循環生産を見学することになった。リユースを中心とし、ほぼ100%リサイクル循環生産に成功したという「写るんです」の生産工程を見学後、開発担当課長の講演もあり、活発な質疑の後、次の目的地、箱根湯本での懇親会に向かった。こちらの方も、入れ替わりはあったが、24名の参加を得て、大宴会、2次会と夜を徹して、旧交を温め、次回、中部支部の開催を決め、翌日は、雲一つない好天気の中、有志のゴルフコンペを行った。

(関東支部幹事：熊澤、平田、迫、杉本、杉山、笹尾、岩田、木内、P. 16の写真参照)

訃報 山田敏郎名誉教授

名誉教授山田敏郎先生は、3年間のご闘病の後、去る5月12日逝去されました。享年84歳でした。ご冥福をお祈りいたします。

ご葬儀は、先生のご遺志によってお身内の方による密葬でしめやかに行われましたが、生前の先生を慕う多くの方々が是非お別れをしたいとのご意向を受けて、去る7月10日「故山田敏郎先生を偲ぶ会」が、からすま京都ホテルで行われました。

山田先生は、昭和18年京都帝国大学機械工学科をご卒業後、本学講師に任用、日本輸送機(株)、岡山大学と本教室教授を経て、昭和57年新居浜高等工業専門学校校長に就任されました。この間に金属材料の疲労強度、信頼性工学的研究、高速変形および精密加工などで輝かしい研究業績を挙げられると共に、大学・科学技術・地方行政ならび地域(特に四国)社会の発展に尽されました。これらのご遺徳に対して従三位の勲位追贈がありました。(星出敏彦記)

【今年度より元教員の訃報につき、情報が入り次第、掲載させていただくことにいたしました。】

教員の異動

◎京機会HP内、「研究室リンク」をご覧くださいと、各分野の構成表が表示されております。

就任

工学研究科

宮崎 則幸教授:S47東大・工・原子力卒、S49東大・工・修士課程原子力修了、S52東大・工・博士課程原子力修了(工博)。同年日本原子力研究所研究員、S58九大・工・化学機械・助教授、H8同教授、H9九大・工・物質プロセス工学・教授、H12九大・工・化学工学・教授、H16.4.1 本学・工・機械・機械材料設計学分野教授。この間 S62～63米国バットル記念研究所客員研究員、H16.4.1～九大・工・併任教授。計算力学、材料強度学をベースとして、電子/光学用バルク単結晶の強度に関する研究、電子デバイス実装の強度信頼性に関する研究、新しい計算力学手法に関する研究に従事。



花崎 秀史助教授:S59年東大・工・物理卒、S61同大学院工学系研究科修士課程修了、同年環境庁公害研(現環境研)研究員、H1工学博士、H6同主任研究員、H9東北大学流体研助教授、H16.3.16本学機械工学専攻伝熱工学分野助教授。この間、H6～7年ケンブリッジ大にて研究、H8～12東大機械工学専攻助教授(併任)。専門は流体工学、温度成層流体などにおける乱流熱・物質輸送現象。



池田 徹助教授:S61九大・工・化学機械卒、S63九大・工・修士課程化学機械修了、H4九大・工・博士課程修了、博士(工学)、同年九大・工・化学機械助手、H8同助教授。H16.3.16本学工・機械・機械材料設計学分野助教授。計算力学、材料力学の分野にて、界面と接着の力学、電子デバイスの信頼性に関する研究に従事。



杉山 正明助教授:S63京大・理卒、H5京大・理・物理学第2専攻博士後期課程単位取得退学。同年九大・理・物理助手、H7京大博士(理学)、この間H10～11ミネソタ大特別研究員。H16.3.16本学・原子炉実験所・中性子材料科学研究分野助教授。中性子・X線をプローブとした小角散乱法を用いて、ソフトマテリアル等の材料を対象とし、物質のナノスケールでの構造学的研究に従事。



安達 泰治助教授:H2神大・工・機械卒、H4阪大・基礎工・博士前期課程機械修了。同年神大・工・機械助手、H9博士(工学)、H10同助教授、この間H9～11ミシガン大学特別研究員、H11～理化学研客員研究員。H16.4.1本学工・機械・連続体力学分野助教授。生体力学、計算力学分野にて生体組織・細胞の機能的適応のバイオメカニクスとその医工学応用に関する研究に従事。



土屋 智由助教授:H3東大・工・精密機械卒、H5東大・工・精密・博士前期課程修了、同年(株)豊田中研入社、H14博士(工学)、この間H11～14名大・工・マイクロシステム・博士後期課程在籍。H16.3.1本学工・機械・マイクロマシン工学分野助教授。シリコンマイクロマシニング技術とその応用デバイス、薄膜機械的物性評価の研究に従事。



小森 雅晴助教授:H7京大・工・精密卒、H9京大・工・修士精密修了、同年モニター・カンパニー・インク入社、H11同社退社、同年京大院博士後期課程入学、H12本学助手、H14博士(工学)、H16.3.1助教授。ドライブレーンの信頼性評価、振動・騒音評価、超精密計測、標準化の研究に従事。



水山 元講師:H2京大・工・精密卒、H4京大・工・修士精密修了。住友金属工業(株)数理技術室研究員を経て、H5本学工・精密助手、H11博士(工学)。この間、H11～H12ロンドン大学大学院ロンドンビジネススクールオペレーション管理・技術管理研究センター客員研究員。H16.4.1本学工・精密・生産システム工学分野講師。生産システムの構成法及び運用法、生産の為の設計、品質管理、品質工学等の研究に従事。



中村 康一講師:H6京大・工・石油化学卒、H11京大・工・分子工学専攻博士後期課程研究指導認定退学。同年本学・工・機物助手、H12京大博士(工学)。H16.2.1本学・工・機械物理・量子物性学分野講師。原子・分子・イオンの電子状態理論とシミュレーション、化学反応の電子過程解析に関する研究に従事。



後藤 晋助手:H6京大・理(物理)卒、H8理学研究科博士前期課程数学・数理解析修了、H11総研大数物科学研究科博士後期課程(理学)修了、同年核融合科学研究所助手。この間H15～16ロンドン大学。H16.6.16熱流体工学講座伝熱工学分野助手。専門は流体力学、特に乱流及び乱流混合の理論・シミュレーション研究。



土井謙太郎助手:H13京大・工・物理卒、H15京大・工・機物博士前期課程修了、同年京大・工・機物博士後期課程中退、H16.2.1本学・工・機物・量子物性学分野助手。電子デバイス中で起こる絶縁破壊やエレクトロマイグレーション等の非平衡現象に関する第一原理電子状態計算の研究に従事。



鈴木 孝明助手:H10群馬大・工・機械卒、H12群馬大・工・修士課程機械修了、H15京大・エネ科・博士後期課程変換修了、博士(エネ科)、同年京大・工・機械・学振特別研究員PD・H16.2.1同機械システム工学講座助手。MEMSおよびMicro-TASの分野にて、機能材料の複雑な挙動の解析と、それらの効果を利用したマイクロデバイスに関する研究に従事。



星出 敏彦教授:S52京大・工・機械卒、S55博士後期課程中途退学。同年京大・工・機械助手、S59工学博士、H1同助教授、この間S61～62イリノイ大学客員研究員、H8エネ科・エネルギー変換科学専攻助教授に配置換え、H15.11.16同専攻エネルギー材料設計分野教授。材料強度学分野にて金属疲労、セラミックス強度、無機系コーティング材料の創成とその機械的特性に関する研究に従事。



琵琶 志朗助教授:H2京大・工・機械卒、H4同修士課程機械修了、H7同博士後期課程研究指導認定退学、京都大学助手、博士(工学)。H10名大・講師、マイクロシステム工学専攻、計算理工学専攻を経てH16.5.1京大・エネ科・エネルギー変換科学専攻助教授。材料・構造/機能システムの固体力学解析、超音波による定量的非破壊評価に関する研究等を進行中。



奇 成燮助手:H5韓国嶺南大・工・機械卒、H7韓国慶北大・工・博士前期課程機械修了、この間H7～11韓国現代自動車(株)担任研究員、H16徳島大・博士(工学)、H12～16文科省国費留学生、H16.4.1本学・エネ科・熱エネルギー変換分野助手。内燃機関とこれを中心とする動力システムの高効率化と環境影響物質の排出低減の為の燃焼制御、後処理技術、代替燃料の利用技術に関する研究に従事。



情報学研究科

石川 将人講師:H6東工大・工・制御工卒、同大・情報理工・情報環境学専攻・修士(H8)、博士(H12)課程修了、博士(工学)。H11同大助手(総合理工・知能システム科学および情報理工・情報環境学)、H14東大・情報理工・システム情報学助手、H16.3.16京大・情報・システム科学・機械システム制御分野講師。制御工学、特に非線形系・非ホロノミック系・ハイブリッド系の制御理論とその応用研究に従事。



異動 大須賀公一助教授：平成15年12月1日、
神戸大学へ異動 教授に就任
箕島 弘二 助教授：本年4月1日、
大阪大学へ異動 教授に就任
藤本 健治助手：本年4月1日、
名古屋大学へ異動 助教授に就任

～ 京機会関連教室送別パーティー ～

平成16年3月22日(月)、京都大学百周年時計台記念館にて、本年3月にてご退官・ご転出の「垣野・山本・箕島・谷村各教官と澤田技官」のこれまでのご業績をたたえ、今後のなお一層のご活躍を祈念して、送別パーティーを開催しました。



京機学生会(SMILE)活動報告

■先輩と学生の交流会

日時：平成15年11月15日(土)

会場：京都大学・物理系校舎

- ・講演会 (13:00～14:30)
「企業内技術者人生」 坂戸瑞根様(京機会会長)
「キャリアの設計」 佐々木美樹様(日本アジア投資)
- ・各企業ブースでの交流会 (14:30～17:00)
学生：約150名 企業：84社、133名
- ・懇親会 (17:30～19:00、京都大学吉田食堂)
学生：約50名 企業：約50名



※写真は昨春のものです。

■キャリアカウンセリング企画

第1回 平成15年12月23日(火・祝)

第2回 平成16年2月28日(土)

会場：京都大学・物理系校舎

- ・グループディスカッション、懇親会
「大学での勉強や研究が社会でどのように活かされているのか」
「日常生活や仕事をされる上でどのような意思決定をされてきたか」
学生：30名 OB：7名

■技術士試験説明会

日時：平成16年4月16日(金) 参加人数：46名

会場：京都大学・物理系校舎214・215室

- ・講演会 (15:00～16:00) 佐藤国仁様
(日本技術士会修得技術者支援実行委員会委員長)
- ・模擬試験・解説 (16:00～16:30)
- ・グループディスカッション(16:45～17:15)
「技術士の社会的認知度を向上させるための方法」

■今後の活動案・活動予定

- ・キャリアカウンセリング企画 平成16年10月
 - ・交流会企画 平成16年11月(P.5参照)
- その他、研究活動にリンクした企画も検討中です。

今後の活動の詳細は、学生会ホームページ
(http://www.hi-ho.ne.jp/dai2seiki/smile/smile_frame.html)で、追って公開する予定です。

広告

エネルギーと環境で社会に貢献 世界にはばたくバブコック日立

ひとり一人が安心して暮らせる環境と豊かな社会、
私たちは21世紀の社会を支える安定した電力エネルギーの開発に全力で取り組んでいます。

バブコック日立株式会社

〒105-6107 東京都港区浜松町二丁目4番1号 世界貿易センタービル7階
TEL:03/5400-2416 ホームページアドレス <http://www.bhk.co.jp>





京機24年会平成16年度同窓会



昭和39年卒同窓会



五十年会(昭和25年卒)2004年春季例会



昭和40年卒同窓会「4040会」



京機26年会(昭和26年卒)同窓会



昭和43年卒同期会



洛友会(昭和29年卒)卒業50周年記念総会



花房研究室同窓会



銀友会(昭和36年卒)同窓会

投稿記事についてのお願い
字数、300字以内。300字以上の場合、都合により、事務局にて文章省略させていただきます。ご了承ください。
お送りいただいた写真は返却いたしません。画像ファイルも可能です。
次号(No.16)の締切は12月末日です。

編集担当(北條正樹、小森雅晴、伊藤靖仁、平方寛之、段智子)